

I B L : Innovative Business Laboratory

ビジネスモデルの実践的研究開発
「**“組合せ事業開発” 検討・実践プログラム**」
(CBPプログラム: Combinatorial Business Produce Program)
のご案内

2024年1月

株式会社リーディング・イノベーション

“組合せ事業開発”検討・実践プログラムの目的

(CBPプログラム:Combinatorial Business Produce Program)

成長分野が多い時代やニーズへのリーチが比較的単純であった時代は、同じ事業カテゴリーに複数の企業が参入し、シェアを分け合うことで各々の企業が成長していました。しかし、解決が難しい社会課題や高度なニーズの解決が求められている今日では、これまでとは異なる形態での解決策の提案が必要になっていると感じます。

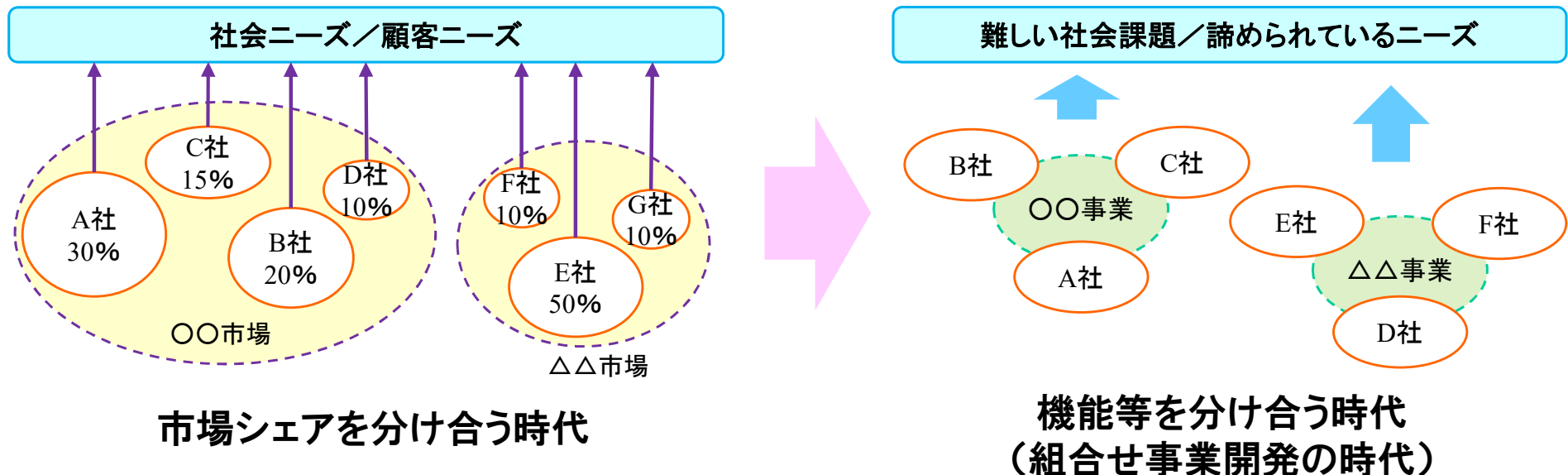
解決が難しい社会課題の解決や、より上位の目的を実現することを事業として成立させるためには、「これまでにない革新的技術」の開発や、「ユニークな技術や機能の組合せによるこれまでにないビジネスモデル」の開発が必要になると考えます。

革新的技術の開発については研究開発を継続するという対応に限られてしまいますが、これまでにないビジネスの開発は、そのような事業を複数の企業が集まって検討できる仕組みがあれば対応可能と考えます。そして、その仕組みとして発足させたものが“組合せ事業開発”検討・実践プログラムです。

ユニークな技術や機能の組合せによるこれまでにないビジネスモデルの開発、すなわち“組合せ事業開発”は、基本的には複数の企業のコラボレーションが必要となります。本プログラムは、このコラボレーションを作り出す機能を持つと共に、組合せ事業の発掘と推進体制の構築を行うことを目指しています。

様々な業種やビジネスレイヤーの企業のご参加をお待ちします。

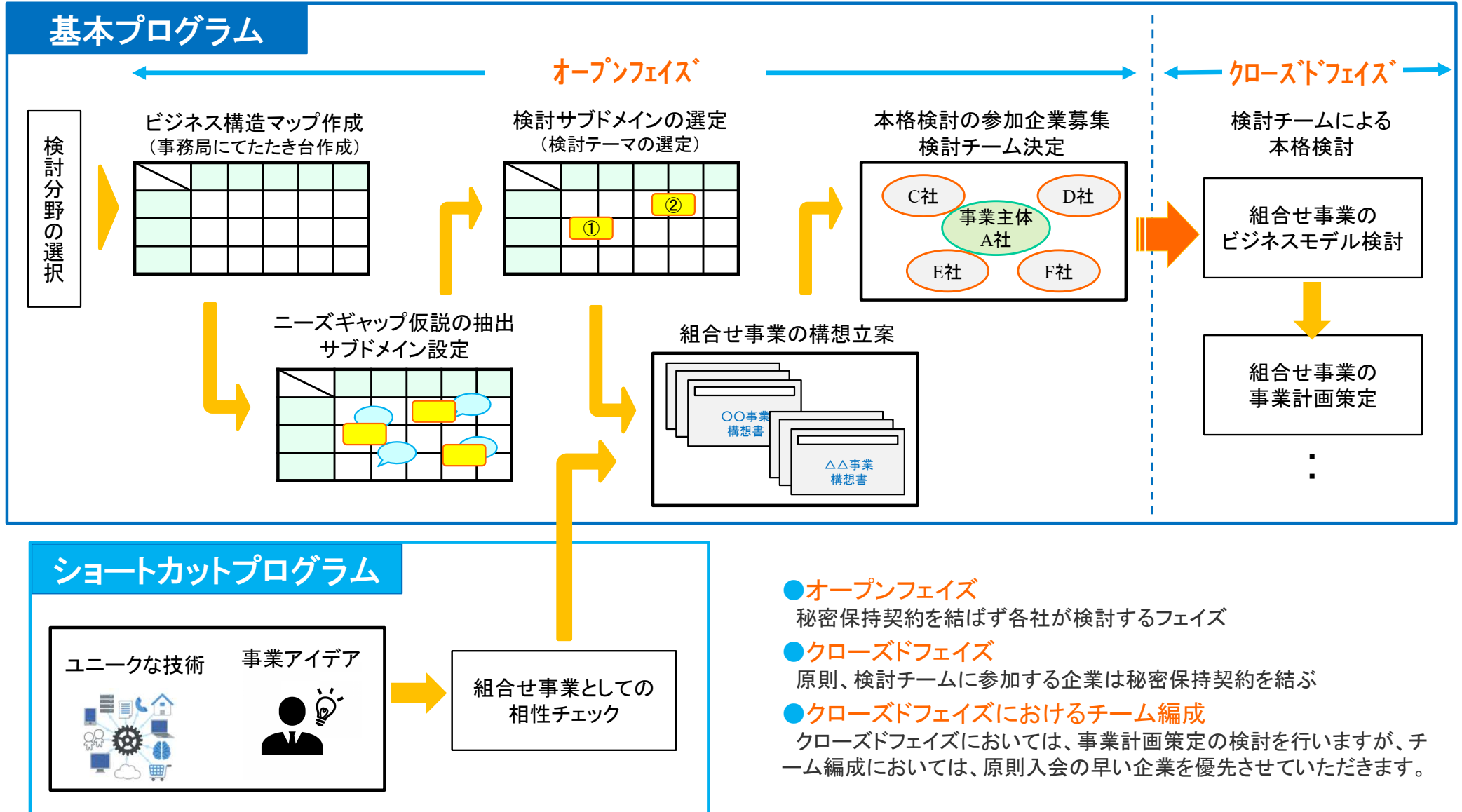
よろしく、ご参加のほどお願い致します。



プログラムの全体像

本プログラムは、基本プログラムとショートカットプログラムの2つ流れがあります。基本プログラムは、事務局が作成したビジネス構造マップのたたき台から検討をスタートします。一方、ショートカットプログラムは、ユニークな技術や事業アイデアを企業から持ち込まれた場合のもので、組合せ事業構想の検討からスタートします。

プログラムにご参加いただければ、どちらのプログラムも参加可能となります。



当面の検討分野と組合せ事業候補(案)

基本プログラム

当面の検討分野(1)



環境に優しいエネルギーの普及促進

再生可能エネルギーを中心に環境の優しいエネルギーの普及が進んでいますが、欧州の環境先進国と比較するとエネルギーに占める再エネ比率は小さい状況です。大きな社会課題のひとつである環境に優しいエネルギーの普及促進を検討分野として、解決課題の絞り込み(サブドメイン設定)、そして、解決策となるビジネスモデルの検討を予定しています。

当面の検討分野(2)



労働生産性向上を実現するための事業開発

日本の労働生産性は諸外国に比べて低く、賃金の上昇を拒み、また国際競争力を低下させている原因のひとつと言われています。この重要な社会課題について問題を構造化し、解決課題を絞り込み(サブドメイン設定)、そして、解決策となるビジネスモデルの検討を予定しています。IT等による業務の効率化など単純なことではなく、もう少し大きな枠組みでのビジネスモデル開発に向けた検討を行う予定です。

ショートカットプログラム

組合せ事業候補(1)



儲かるバイオマス発電の組合せ事業開発

日本では、事業として成立しにくいためバイオマス発電の市場は減少傾向にあります。しかし、森林を守る意味でも非常に重要な発電の仕組みと考えます。単独では成立しにくいバイオマス発電をですが、CO2排出枠やゴミ発電など、複数の仕組みの組合せにて、儲かるバイオマス発電のための組み合わせ事業を検討していきます。

参加企業のご要望を聞き、随時検討分野(基本プログラムのテーマ)と組合せ事業候補(ショートカットプログラムのテーマ)を追加していきます。

プログラムの進め方

● 検討会の開催頻度

基本プログラム、ショートカットプログラム共、1回/月の定例検討会を実施します。開催時間は、13:00～16:00の3時間を予定しています。なお、代理出席は可能です。代理出席もできなかった場合は、後日事務局にて検討会の内容をお伝えするします。

また、必要に応じ、定例検討会の間に検討を進めるための短時間ミーティングを行います。

検討会の 開催頻度

基本プログラム：1回/月
ショートカットプログラム：1回/月

短時間 ミーティング

必要に応じ、検討会と検討会の間に実施(1時間～2時間程度)

● 定例検討会の開催予定(2024年3月～9月)

◆ 基本プログラム

1回目：3月27日(水)	2回目：4月24日(水)
3回目：5月29日(水)	4回目：6月26日(水)
5回目：7月24日(水)	6回目：8月21日(水)

◆ ショートカットプログラム

1回目：4月10日(水)	2回目：5月15日(水)
3回目：6月12日(水)	4回目：7月10日(水)
5回目：8月7日(水)	6回目：9月4日(水)

● 開催方法

原則、Zoomによるオンライン
ただし、半年に1回程度リアル開催予定

● 会員期間、及び募集期間

- ・いつでも入会可能です(随時募集)。
- ・会員期間は、お申し込みいただいた翌月から半年間です。半年間は、検討会等への参加が可能です。
- ・半年以降もご参加いただく場合は、延長のお申し込みをいただきます。

● 会費

一名様あたり 180,000円(消費税別)/半年(消費税別)。

代理出席可。

お申し込み後に御請求書を送付しますので、指定の口座へお振り込みいただきます。

● 申し込み方法

・下記メールアドレスに、必要事項(会社名、住所、部署名、役職、氏名、TEL、メールアドレス)を添えてお申し込みください。

株式会社リーディング・イノベーション
東京都千代田区丸の内2-2-1 岸本ビルディング6階
高橋 takahashi@lead-in.com

【お問い合わせ先】

芦澤：ashizawa@lead-in.com

TEL 03-5953-8950 FAX 03-5953-8862

参考) これまでの研究会での主な参加企業(順不同)

日立製作所、ブラザー工業、NEC、富士ゼロックス、大和ハウス、日本たばこ、石川播磨重工業、トピー工業、神戸製鋼所、リクルート、コクヨ、ナブテスコ、アステラス製薬、日立化成、リコー、パナソニック、ソニー、東京ガス、古河電工、三井不動産、松和印刷、理想科学工業、インタースペース、コニカ・ミノルタ、ヤンマー、アルプス電気、セガ、太平洋セメント、日本信号、竹中工務店、GAC、インクス、ダイセル化学工業、村田機械、トプコン、日立ソリューションズ、ブラザーエンタープライズ、三菱化学、NTTコミュニケーションズ、日東電工、日本信号、セイコーエプソン、日本曹達、東京プリント、セコム医療システム、ラムセル、味の素、住友化学、カルピス工業、リンテック、旭化成ケミカルズ、旭化成、横河ブリッジ、NECソリューション・イノベーターズ、佐藤工業、京王電鉄、デンソー、ニックス、都築電気、フジクラ、三菱化工機、スカパーJSAT、巴商会、OMデジタルソリューションズ、積水インテグレートリサーチ、トッパン・フォームズ、FCNT、全日空商事、小泉産業、両備システムズ、東京計器、ヒューマックス、クレハ、日本特殊陶業、東海理化、パナソニック インダストリー、ミツミ電機、トクヤマ、ナミックス、TOPPAN、長谷エアネシス、日清紡ホールディングス